

実 践 編 (保健指導)

こんな展開はどうですか

1. 題材名 小学校第2学年「せいけつな体」(内容(2)ー力)

2. 題材の目標

○自分の体に関心を持ち、よりよい健康を保つために体を清潔にすることができるようにする。

3. 題材について

○題材設定の理由

本題材は、心身ともに健康で安全な生活態度の形成に関わる内容である。子ども達は、休み時間を活動的に過ごしている。しかし、遊び後に手洗いをしない姿がしばしば見られる。これは、子ども達が、体を清潔にすることの大切さと方法について学習してはいるものの、自分事としてとらえられていないためではないかと考えられる。そこで、子ども達が、よりよい健康のために体を清潔にする大切さに気づくとともに、その方法について友だちと話し合い、自分に合った目標を設定し、実践できるようになって欲しいと願い、本題材を設定した。

○本題材の指導

1年生の「体をきれいに」の学習で、自分の体を清潔にする大切さと自分で清潔に保つ方法のひとつとしてトイレ後のお尻の拭き方を学習した。

本題材では、よりよい健康を保つために体を清潔にすることの大切さを学び、体の部位に合った清潔を保つ方法を友だちと話し合いながら学習する。指導にあたっては、具体的な場面を想起し、生活の中で実践していく意欲が高まるように配慮する。また、本時の学習は、実践の日常化が重要であるので、学級通信等で学習内容や授業での児童の様子を伝え家庭との連携を図る。また、本時で決めた自分に合った体の清潔保持の取り組みに対する励まし等の支援をお願いする。

4. 指導計画

	日 時	活 動 内 容
事 前	○月○日 帰宅後(宿題)	○実態把握のための事前アンケートを行う。 ○家族に体を清潔にする方法についてインタビューをする。
本 時	○月○日 2校時	○より健康に過ごすために体を清潔にする大切さがわかり、体を清潔にする方法が実践できるようになる。
事 後	○月○日～1週間	○自分の目標を決め、体を清潔にする方法を1週間実践する。 ○家で寝る前に、お家の方と一緒にその日の自己評価をする。
	○月○日朝の会	1週間の実践後、取り組みについて自己評価をする。

5. 展開例

目指す児童の姿

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
自己の身の回りの問題に関心を持ち、進んで日常の生活や学習に取り組もうとしている。	学級生活を楽しくするために日常の生活や学習の課題について話し合い、自分に合ったよりよい解決方法などについて考え、判断し、実践している。	学級生活を楽しくすることの大切さ、そのための基本的な生活や学習の仕方などについて理解している。

	主な学習活動	○指導上の留意点 ◆評価	資 料 等
導入 5分	1. 自分たちの体の汚れに気づく。 〈予想される反応〉 - 思ったより汚れてるな。 - ちゃんと洗ったのに。 めあて：からだを「せいけつにするほうほう」をみつけよう。	○濡れたカット綿で手の汚れを拭き取り汚れを確かめさせる。 ○教師も一緒に行い誰にも汚れがあることを示すとともに、汚れには個人差があることを説明する。	濡れたカット綿 学習カード
展開 30分	2. 体のどこが汚れやすいかを考える。 〈予想される反応〉 手、顔、首、頭、鼻、耳 → 外側からの汚れがつきやすい部分 わきの下、足の裏 → 内側からの汚れがつきやすい部分 おしっこやうんちの出る所 → 汚れやすい役目の部分 3. 体を清潔にすることの大切さを考える。 〈予想される反応〉 - 手を洗わないとおなかが痛くなる。 - 体がよごれていると臭くなる。 4. 体を清潔にするための方法を考え発表する。 〈予想される反応〉 - 手を洗う。 - お風呂に入る。 - 歯をみがく。 - 顔を洗う。 - 下着を毎日取り換える。	○体のどこが汚れやすいか発表させる。 ○発言で出された体の部分は、シルエット絵図で3分類に色分けしてマーキングして、視覚的に捉えやすくする。 ○体の汚れをそのままにしておくと、どうなるか考えて発表させる。 ○まわりの人と気持ちよく生活するためのマナーであることにも気づかせる。 ○絵を見て、それぞれの場所をきれいにする方法を考えて発表させる。 ○入浴の仕方について模倣し、一緒に練習する。 ○家庭ごとに入浴方法が異なることが予想されるため、衛生面やマナー面から大切なことを踏まえた内容を説明する。 ○トイレ後の拭き方も確認する。	シルエット絵図 パワーポイント資料
まとめ 10分	5. 自分に合った体をきれいにする方法を決め、発表する。【自己決定】 〈予想される反応〉 - 休み時間の後はきちんと手を洗う。 - お風呂に入った時はお尻をちゃんと洗う。	○これからの生活で、自分の体を清潔にしておくための方法を考え学習カードに記入させる。 ○決めたことを発表させる。 ○一人一人の自己決定を認め、称賛して今後への実践意欲を高める。 ◆【思考・判断・実践】 友の意見を参考にし、自分に合った体を清潔にする方法を決めることができる。（学習カード・発言）	学習カード

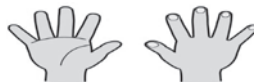
6. 資料等

学習カード

『せいけつな体』

年 組・なまえ

☆あなたの手は、《せいけつ》ですか？



ほく、わたしの手は、

(せいけつです ・ せいけつではありません ・ わかりません)

☆体のどこがよごれやすいかな？



--	--	--

☆体のよごれをそのままにしておくと、どうなるかな？

--

☆ピカピカ太さくせん！☆

ほく、わたしは、

これから《体をせいけつにするために》がんばります！



--

○とってもがんばった！ ○がんばった △もっとがんばれた ×やらなかった

日・曜日	ふりかえり	あした気をつけたいこと
・		
・		
・		
・		

ピカピカ太さくせんできちんとがんばったこと、よかったこと、うれしかったこと などなど

--

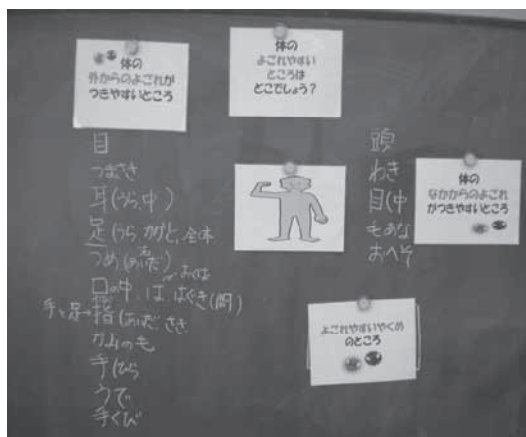
あうちの人からのアドバイス

--

<パワーポイント資料 一部抜粋>



<板書例>



1. 題材名 小学校第4学年「かけがえのない命」(内容(2)－ア、ウ)

2. 題材の目標

- 自分が、たくさんの人たちに支えられているかけがえのない命であることを実感することができるようにする。
- 自分に自信をもち、現在及び将来の生活や学習によりよく適応し、自己を行かすことができるようにする。

3. 題材について

○題材設定の理由

本題材は、希望や目標をもって生きる態度の形成と望ましい人間関係の形成に関わる内容である。子ども達は、保健学習の「体の発育・発達」や「思春期の体の変化」で、自分の心と体が大人に近づいてきていることを学んだ。学習を積み重ねるうちに思春期を迎える心構えはもつことができたが、日常生活の中では、思春期が近づき心が揺れ動きやすくなっている。そのため、小さなトラブルで激しく友を傷つけたり、自分や友だちを大切にできていない場面が見受けられたりする。そこで、たくさんの人に支えられている自他の命のかけがえのなさに気づき、自分も友だちも大切にしたい言動ができるようになって欲しい。また、今後自分がかけがえのない命をつないでいく存在になることに気づき、前向きに二次性徴を受け止められるようになって欲しいと願い、本題材を設定した。

○本題材の指導

事前に保健学習の単元の「体の発育・発達」や「思春期の体の変化」で成長してきている自分や大人に近づいてきている自分について意識できるようにする。本題材は、2時間扱いとし、目標に向けて、第一時では「サポートマップ」の作成及び発表、第2時では「大切な人とつながっている宝物カード」の作成及び発表を行う。両時間ともに、個々の事情を十分配慮し支援を行う必要がある。また、個の心の動きに寄り添った声かけを行う。

4. 指導計画

	日 時	活 動 内 容
事 前	○月○日 帰りの会	○事前に保健単元の「体の発育・発達」、「思春期の体の変化」の学習を振り返る。
本 時	○月○日2校時	○「サポートマップ」を作成する。 ○自分がたくさんの人たちに支えられていることを実感する。
次 時	○月○日2校時	○「大切な人とつながっている宝物紹介カード」を作成し、発表する。
事 後	○月○日朝の会	○自分と同じように、友だちもたくさんの人たちに支えられているかけがえのない命であることや自分がかけがえのない命をつないでいく存在になることについて考える。

5. 展開例

目指す児童の姿

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
自己の生活上の問題に関心をもち、意欲的に日常の生活や学習に取り組もうとしている。	楽しい学級生活をつくるために、日常の生活や学習の課題について話し合い、自分に合ったよりよい解決方法などについて考え、判断し、実践している。	楽しい学級生活をつくることの大切さ、そのためのよりよい生活や学習の仕方などについて理解している。

	主な学習活動	○指導上の留意点 ◆評価	資料等
導入 5分	1. 保健学習を想起し、自分の成長を支えてくれている人のことを考える。 〈予想される反応〉 ・お母さん。 ・お父さん。 めあて：自分が、どんな人たちに支えられているか考えてみよう。	○保健の「変化してきたわたしのからだ」、「思春期の体の変化」の学習を思い起こさせる。 ○どんな人が自分の成長を支えてくれているか考えて発表させる。	
展開 30分	2. 「サポートマップ」を作成する。 〈予想される反応〉 ・お母さんが一番近くかな。 ・お父さんもその近く。 ・おじいちゃんやおばあちゃんにもお世話になってる。 ・隣の家のおじちゃんにもよく遊んでもらってる。 ・学校の先生。 ・保健室の先生。 ・学童保育の先生。 ・いつも行くお医者さん。 3. グループで「サポートマップ」を発表し合う。 〈予想される反応〉 ・病気の時に面倒を見てくれたお母さんのことが書いてあっていいなあと思いました。 4. 絵本「いのちのまつり」の話を聞く。	○教師が、事前に作成した「サポートマップ」を紹介しながら、サポートマップの書き方を説明する。 ○サポートマップの人々に対して自分がどのような思いを寄せて作成したかを作成時の参考になるように、わかりやすく説明する。 ○サポートマップに記入させる。 ○家族、親戚、友人、間接的に自分の衣食住を支えてくれている人など、身近な人から普段は意識しにくい人まで広い視野で支えられている人について考えられるように助言する。 ○距離感をつかみにくい児童には、支えてくれている人をまず列記させ、その人とのエピソードを聞きながら、マップに仕上げるよう助言する。 ○グループで、「サポートマップ」を発表し合い、発表を聞いた感想を一人ずつ発表するよう指示する。 ○発表後の感想発表では、「いいなあ。」と思ったこと等「サポートマップ」の具体的な部分に着目して発表できるように予め全体に周知する。また、聞いた後の気持ちも伝えられるとよい。 ○静かに、落ち着いた雰囲気でも聞けるように、聞く位置を工夫する。 ○たくさんの人に支えられている自分の命（存在）の大切さやかけがえのなさが実感できるように机間指導で個別に指導を行う。	学習カード 絵本「いのちのまつり」シリーズ サンマーク出版(2005)
まとめ 10分	5. 今日の授業で思ったことや感じたことを発表し合う。 〈予想される反応〉 ・いろいろな人に支えられてここまで大きくなったことが分かった。	○今の自分の気持ちにも着目ながら感想を記入するように伝え、発表させる。 ◆【関心・意欲・態度】 自分に自信をもち、現在及び将来の生活や学習によりよく適応し、自己を生かそうとすることができる。(学習カード・発言)	

6. 資料等

学習カード

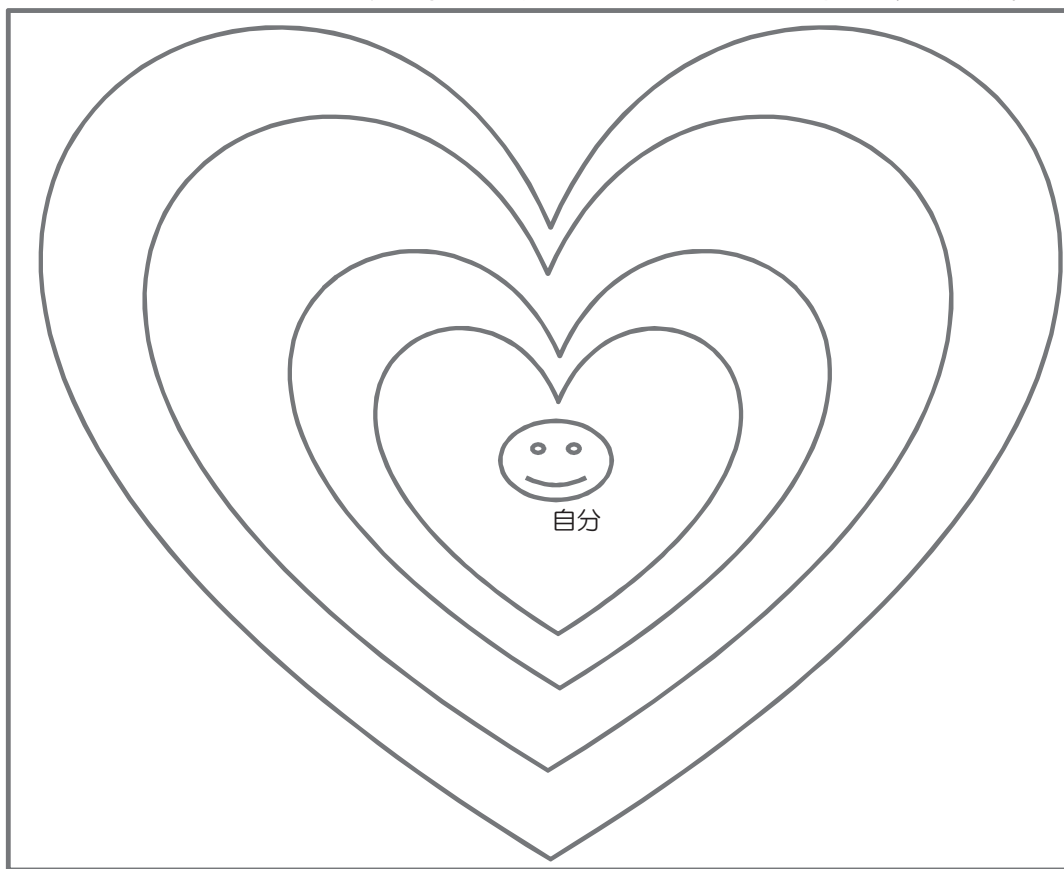
「かけがえのない命① ～つながる命・つないでいく命～」

組 名前

◇ ミッション 1

「自分のサポートマップを作ろう！」

あなたの周りには、たくさんあなたをささえてくれている人がいますよね。
あなたの周りには、どんな時にどんなことをしてくれている人がいるでしょう。お家の人に
ヒントをもらってもいいので、自分のまわりにいてくれる人について考えてみましょう。



☆自分の「サポートマップ」を作ってみての感想を書きましょう。

【次時の学習カード】

「かけがえのない命② ～つながる命・つないでいく命～」

組 名前

◇ ミッション 2

「大切な人とつながっているあなたの宝物を教えて！」

☆ここに、宝物の写真をはったり、絵をかいたりしましょう。

☆あなたの宝物は何ですか？

☆あなたの宝物になったわけを教えてください。

1. 題材名 小学校第6学年「安全な生活」(内容(2)－力)

2. 題材の目標

○登下校中の性被害の危険に気づき、性被害から身を守る行動をとることができるようにする。

3. 題材について

○題材設定の理由

本題材は、心身ともに健康で安全な生活態度の形成に関わる内容である。毎日利用する通学路にも性被害の危険が潜んでいることを、意識せずに登下校している児童は多い。身の回りの危険に気づき、危険を予測した行動がとれることで、性被害を防ぐことができると考え、本題材を設定した。

○本題材の指導

事前に、通学路で怖いと思う場所や危険だと思う場所を意識して登下校させ、通学路の危険や安全を意識できるようにする。5年生の体育科保健領域「けがの防止」に関連づけて指導しても良い。本時では、通学路が近いグループで地図をつくることで、気づきを共感しやすくし、登下校の際に相互に協力し、注意し合える関係をつくる。また、危険な場所に気づき、どのようにすれば危険を回避できるかを考える。2時間扱いとし、第1時は地図作りを中心活動とする。第2時は地図の仕上げと発表をおこない、情報を共有し事後へつなげる時間とする。事後には、地区別児童会で作成した地図を発表し、他学年へ伝えることで知識の定着をはかり、より防犯意識を高められるようにする。

4. 指導計画

	日 時	活 動 内 容
事 前	帰りの会 (前日)	○通学路で怖いと思う場所、危険だと思う場所を意識して登下校させる。
本 時	7 月中	○安全マップを作り、登下校時の具体的な危険回避行動を考える。
事 後	地区別児童会	○地区別児童会で安全マップを発表する。

5. 展開例

目指す児童の姿

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
自己の生活の充実と向上にかかわる問題に関心をもち、自主的に日常生活や学習に取り組もうとしている。	楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、日常生活や学習の課題について話し合い、自分に合ったよりよい解決方法などについて考え、判断し、実践している。	楽しく豊かな学級や学校の生活をつくることの大切さ、そのための健全な生活や自主的な学習の仕方などについて理解している。

	主な学習活動	○指導上の留意点 ◆評価	資料等
導入 10分	1. 性被害とはどんなことを言うのか、聞いたことや経験したことを話し合う。 〈予想される反応〉 ・痴漢、誘拐 ・性器を見せられた ・声をかけられた ・写真を撮られた めあて：性被害にあわないためにどうすればいいのか考えよう。	○自分が聞いたことや経験したことを自由に話し合える雰囲気を作る。 ○あらかじめ通学路が近い者どうしのグループを作っておく。 ○実際に被害にあった児童がいることがわかっている場合、事前にアンケートをとるなどの実態調査をして提示する。	事前調査用紙
展開 35分	2. 性被害について、発生しやすい時間帯や場所について考える。 〈予想される反応〉 (時間帯) ・午後2時～6時 (理由) ・一人になる 3. 通学路で一人になる場所や、大人の目が届かない場所を考え、校区の安全マップを作る。 〈予想される反応〉 ・この通りは、街灯がなくて暗いから危ないね。 ・近くに安心の家があるから、何かあったら助けを求めることができるね。 ・ここには交番があるから安心だね。 ・車の通りが多いから、交差点は気をつけて通らないといけね。	○資料を見て性被害が起こりやすい時間帯や理由について自由に発言させる。 ○時間帯と理由を関連付けて考えられるようにする。 ○登校グループに分かれ、通学区の地図に危険な場所や、困った時に逃げ込める安全な場所などを書き込ませる。 ○各箇所でも被害にあわないための方法も考える。 ○地図への書き込みは、「大人の目が届きにくい場所」「一人になりやすい場所」など、ポイントを見つけられるように支援する。 ○「こどもを守る安心の家」を確認しておく。 ○性被害の視点だけでなく、事故や危険箇所についても書き込み、「みんなが安心して通えるための地図づくり」にすることにより、防犯意識を高める。	資料1 警視庁資料 資料2 通学路地図
展開 35分	4. 完成した地図をグループごとに発表する。	＜第1時はここで終了。第2時で地図を完成させる。＞ ○工夫した点を中心に、要点的に発表させる。	
まとめ 10分	5. 実際に被害にあった場合、どのようにすれば良いかをカードに記入し発表する。 【自己決定】 〈予想される反応〉 ・安心の家に助けを求める。 ・交番まで走る。	○自分の通学路を想定し、実際の場面でどのようにすれば良いか具体的に考えさせる。 ◆【思考・判断・実践】 実際に被害にあった場合、どのようにすれば良いか具体的に考え決定することができる。(学習カード・発表)	学習カード

6. 資料等

事前調査用紙

心とからだについての調査

氏名 _____

問1 友達やおとなの人から、エッチなことやいたずらをされたことがありますか。

ある ・ ない

問2 ある人は、どんなことですか。

問3 からだのことや心のこと、異性のことについて、悩んでいることがあれば書いてください。

【参考】警視庁「性犯罪から身を守る」

<http://www.keishicho.metro.tokyo.jp/kouhoushi/no1/koramu/koramu8.htm>（参照 2014-2-5）

資料1

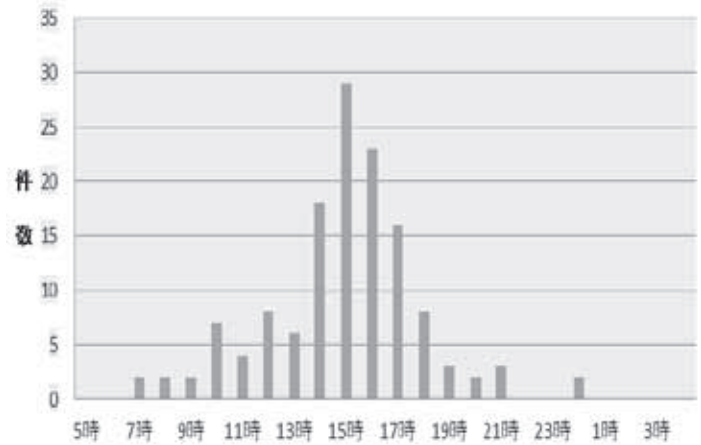
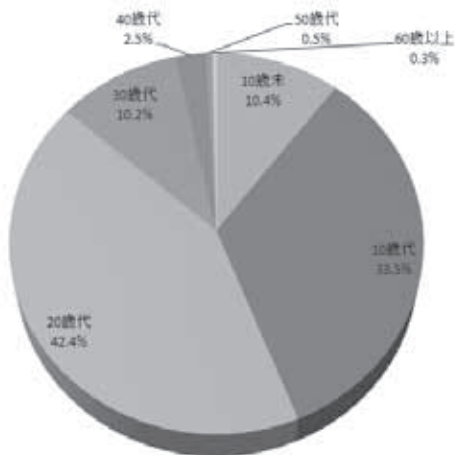
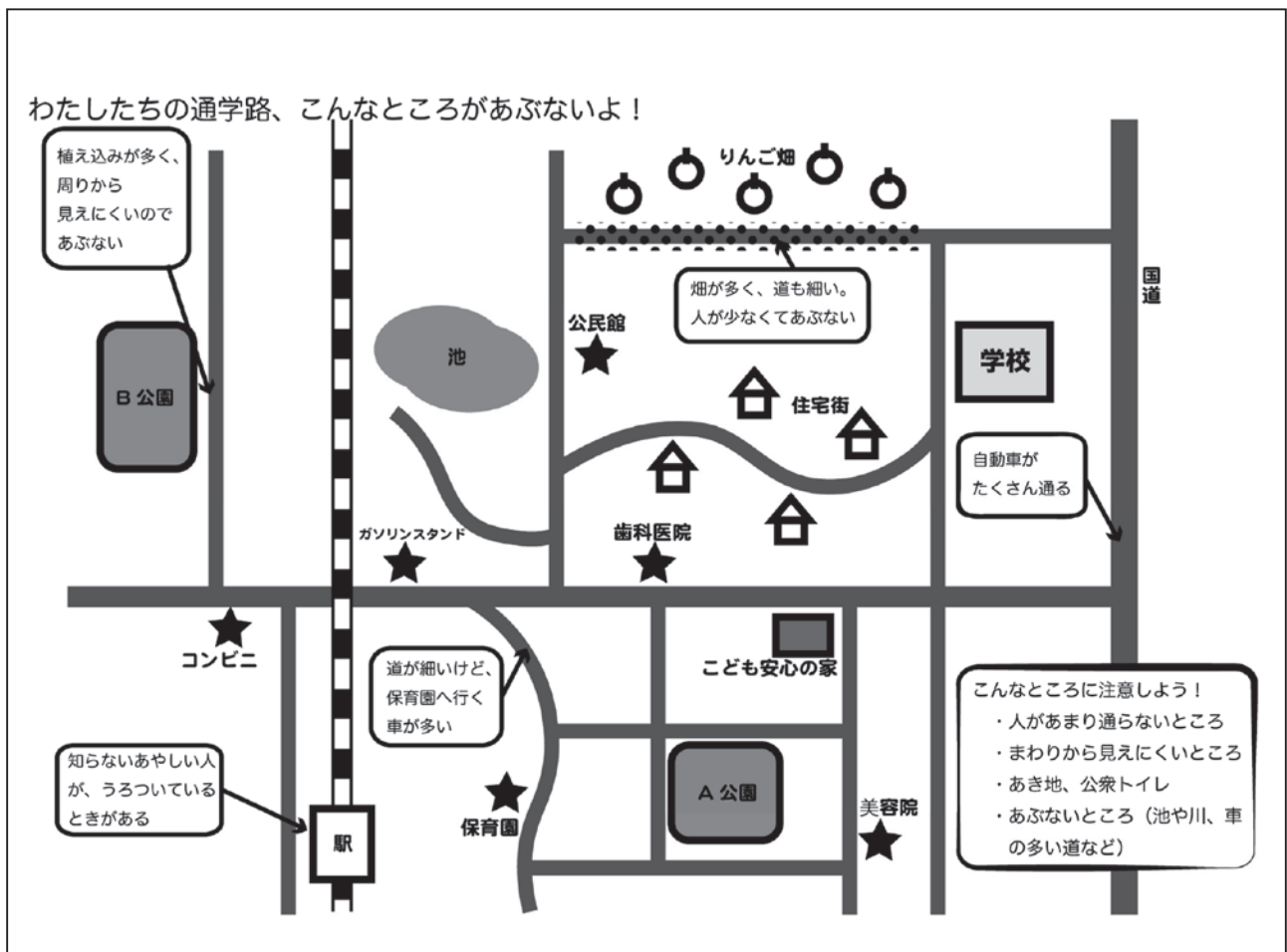


図1 都内における強制わいせつの年齢別被害状況（H24）

図2 都内における年少者（13歳未満）に対する性犯罪時間別発生状況（H25年中）

資料2 地図完成例



1. 題材名 中学校第1学年「二次性徴期の悩み」(内容(2)－ア・ク)

2. 題材の目標

○二次性徴に伴う不安や悩みに対処する方法を考え、実践できるようにする。

3. 題材について

○題材設定の理由

本題材は思春期の不安や悩みとその解決、性的な発達への適応に関わる内容である。生徒たちは急速に成長発達していく体の変化に悩み戸惑い、インターネットや雑誌、友達からの間違った情報を得て、間違った行動選択をする危険性がある。また、自己主張も強くなるため、周囲の大人への反抗や自身の感情をコントロールできない状況も生じ、自己を見失う行動を起こしてしまうこともある。そこで、二次性徴がいちじらしいこの時期に正しい知識を与え自己理解を深めることによって、思春期特有の不安や悩みに対処できると考え本主題を設定した。

○本題材の指導

事前に学習している保健体育科保健分野「性機能の成熟」の授業をうけて実施する。事前にアンケートを取ることによって、周りの友達も自分と同じように疑問や不安に思っている事があることを知る。男女別の席にしておくと、グループごとの話し合いで意見が出しやすい。男性教師と養護教諭のTT授業も考えられる。また、個人差があることをおさえ、全体で扱うことができなかった悩みや新たな疑問は個別指導で扱う。

4. 指導計画

	日 時	活 動 内 容
事 前	○月○日学活	○アンケートによる実態把握を行う。
本 時	○月○日 第○校時	○二次性徴期を迎えたことに伴う心身の変化や特徴を知るとともに、思春期の不安や悩みを科学的に解明し、適切に対処する方法を考える。
事 後	随時	○必要な生徒への個別指導。

5. 展開例

目指す生徒の姿

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
自己の生活の充実と向上に関わる問題に関心をもち、自主的、自律的に日常生活を送ろうとしている。	日常生活における自己の課題を見出し、自己を生かしながら、よりよい解決方法などについて考え、判断し、実践している。	集団や社会への適応及び健康で安全な生活を送ることの大切さや実践の仕方、自他の成長などについて理解している。

	主な学習活動	○指導上の留意点 ◆評価	資料等
導入 5分	1. 男子・女子が心身の変化に伴い抱く不安や悩みについて知る。 〈予想される反応〉 ・男女交際で悩んでいる人がいる。 めあて：性に関する不安や悩みの対処方法を考えよう。	○アンケートの結果を見て思ったことを自由に発表させる。 ○二次性徴に伴う不安や悩みがあることは、誰でもあたり前のこととしてとらえさせる。	アンケート用紙 アンケート結果
展開 35分	2. アンケート結果と自分自身を比較して、気づいたことを学習カードに記入し発表する。 〈予想される反応〉 ・周りの友達も自分と同じように、不安に思ったり、悩んだりしている事があることが分かった。 3. 男女別のグループごとに、アンケート結果について話し合う。 〈予想される反応〉 ・アンケートの感想。 ・不安や悩みに思っていること。 4. 心身の変化について保健の授業で学習したことを再度確認する。 5. 不安や悩みの対処方法をグループごとに考える。 〈予想される反応〉 ・種類（体、友達関係、親や先生との関係、学習） ・原因（正確な知識の欠如、自分の心の持ち方） ・対処法（先生に相談する、自分で調べる）	○アンケート結果を見て気づいたことをまず学習カードに記入させ、その後発表させる。 ○個人の悩みの内容については無理に出さなくてよいことを伝える。 ○男女別のグループに分かれ、自由に話し合える雰囲気を作る。 ○各グループの話し合いの内容を聞き取りながら、補足説明が必要と思われる内容を決め出す。 ○保健の授業で学習した内容を補足説明する。 ○教師からの一方的な説明になりやすいが、生徒の知識や体験を問いながら、生徒の発言を取り入れていくように工夫したい。 ○ブレインストーミングのやり方を説明する。 ○不安や悩みの種類・原因を整理し、それぞれの対処方法を考えさせる。 ○インターネットや友達の情報は正確でない場合もありえることをおさえる。	資料「思春期って何だろう？性って何だろう？」 模造紙 付箋 マジック 資料「ブレインストーミングとは」（中2資料1参照）
まとめ 10分	6. 不安や悩みに対して、自分ができる対処方法を選択し、学習カードに記入する。 【自己決定】 ・体のことについての悩みは、保健の先生に相談する。	○自分に合った対処方法を選択し、学習カードに記入させる。 【思考・判断・実践】 不安や悩みに対処する方法を考えることができる。（学習カード・発言）	学習カード

6. 資料等

アンケート用紙



心とからだのアンケート



中学生になって心身ともに成長しつつある皆さんですが、特に思春期には大きな変化があります。小学生の頃と比べて、どんなことが変わってきたでしょう。

組 男子 or 女子

問1. 自分の心やからだについて、あてはまるものすべてに○をつけてください

あてはまる ものに○	質 問 事 項
1	先生や家族、まわりの人への不満が増えた・反抗的になった
2	イライラすることが多くなった
3	小さなことで悲しくなることがある
4	一人になりたい時がある
5	進路や将来のことを考えるようになった
6	髪形や服装を気にするようになった
7	異性を気にするようになった
8	友だちとエッチな話をしたり、エッチな写真・雑誌を見たことがある
9	男女交際で悩みがある
10	自分の外性器の変化について不安や悩みがある
11	射精や月経のことで不安や悩みがある
12	性に関する病気のことで不安や悩みがある

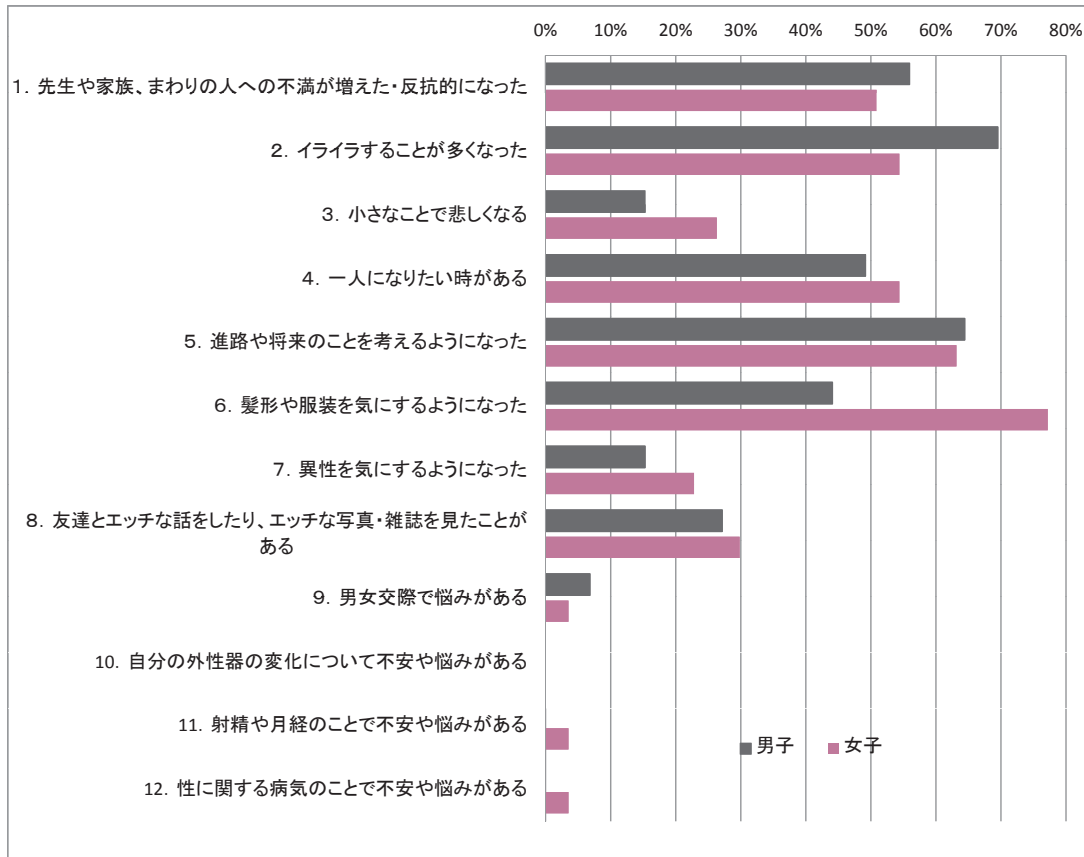
問2. クラスで他の人に望むことを書いてください。

(例：男子から女子へ 女子から男子へ 等)

問3. 自分の心やからだのことで、心配したり悩んだりしていること、または「性」について学習したいことがあったら書いてください。

アンケート結果

生徒用 心とからだのアンケート集計結果



問2 クラスの人へ望むこと

男子から女子へ望むこと

- ・静かにして ・体のことについて言わないでほしい ・根拠がないのに好きとか言わないでほしい
- ・授業中積極的に参加して ・授業中発言して

女子から男子へ望むこと

- ・授業中うるさすぎるのももう少し静かにしてほしい ・簡単に「死ね」と言わないで
- ・皆の前で平気で変な話をしないで ・平気でエロいことを言わないで ・外見の悪口を言わないで
- ・大きな声で歌って ・授業中と休み時間のけじめをつけて ・好きな人の事でからかわないで

問3 心やからだの悩み 学習したいこと

- 男子…太りたい ・心がひらけない ・大人数の所にいたくない
- 女子…生理不順 ・授業中眠い ・将来が見えない ・何でも深く考えてしまう
- ・悪口を聞くと自分のことを言われていると思ってしまう

資料

【参考】「思春期ってなんだろう？性ってなんだろう？」（平成23年度改訂版）パワポ 日本産婦人科医会役立つ図表集より www.jaog.or.jp/sep2012/diagram/（参照 2014-2-3）

* 以下のスライドが使用できそうである。（ ）内はスライド番号

「男子の悩み」（23・32・34）「男性の体」（24・26・27・28・31）「女子の悩み」（10・18・19・20）「女性の体」（11・12・14・16・17）



1 年第 1 時「二次性徴期の悩み」

学習カード

組 氏名 _____

1. 「心とからだのアンケート」結果を見て、気づいたことを書いてみよう。

2. アンケート結果についてグループごとに話し合ってみよう。

3. 思春期の不安や悩みの対処方法を考えてみよう。

4. 自分が抱いていた不安や疑問についてわかったこと、自分ができる対処方法について書いてみよう。

1. 題材名 中学校第2学年「性情報と私たち」（内容（2）－ク）

2. 題材の目標

○性情報を正しく選択したり処理したりする能力の必要性や、自分に合ったよりよい解決方法について考え、判断し、実践できるようにする。

3. 題材について

○題材設定の理由

本題材は性的な発達への適応に関わる内容である。性が商品としてあたり前に扱われる現代社会において、誇張や歪曲されたあふれかえる性情報の中で、生徒たちは何が真実かわからないまま受け入れている。マスコミによって作られた刺激的な情報によって不安や悩みが拡大する生徒がいる一方、性犯罪を増加させている可能性もある。また性の商品化が女性蔑視や軽視にもつながっていることも懸念される。そこで、より良い人間関係を築くため、性情報を正しく選択し賢い行動選択を自己決定できるようにと考え本主題を設定した。

○本題材の指導

事前に、身の回りの性に関する情報の種類や、不快に思った性情報の内容についてアンケートをとっておく。本時は、性情報には営利を目的とした企業が意図的に誇張・歪曲した間違った情報も含まれていることに気づかせる。また性に関する事柄については感じ方に男女差があることや、学校でのマナーについても触れておきたい。発達段階として性に関心を持つことは当たり前のことであるが、賢い情報選択と行動の意志決定をさせ、学習カードに記入させる。

4. 指導計画

	日 時	活 動 内 容
事 前	○月○日学活	○性に関する情報について、アンケートによる実態把握を行う。
本 時	○月○日 第○校時	○性の商品化に気づき、性情報を正しく選択したり処理したりする能力の必要性を理解し、異性とのより良い人間関係を築こうとすることができる。
事 後	随時	○日常の生活で自己を振り返る。

5. 展開例

目指す生徒の姿

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
自己の生活の充実と向上に関わる問題に関心を持ち、自主的、自律的に日常の生活を送ろうとしている。	日常の生活における自己の課題を見出し、自己を生かしながら、よりよい解決方法などについて考え、判断し、実践している。	集団や社会への適応及び健康で安全な生活を送ることの大切さや実践の仕方、自他の成長などについて理解している。

	主な学習活動	○指導上の留意点 ◆評価	資 料 等
導入 5分	1. 身の周りの性に関する情報の種類を知る。 〈予想される反応〉 ・ テレビ、雑誌、漫画、小説、ビデオ、インターネット、広告等	○ アンケート結果を見て、自分たちが性に関する情報をどこから得ているか分かったことを発表させる。 ○ 不快に思った性情報にも目を向けさせる。	アンケート用紙 学習カード
	めあて：正しい性情報を選択するにはどうしたらいいか考えよう。		
展開 35分	2. マスコミが刺激的な情報を氾濫させている理由を考える。 〈予想される反応〉 ・ 会社がお金を儲けるために人間の性を商品化しているような気がする。 ・ 視覚的、刺激的な商品にしてお金を儲けようとしている。 ・ 女の人を商品のように扱われている気がする。	○ 性の情報について、作り手側の立場になって考えさせる。 ○ 漫画や週刊誌・テレビ等の性の記事を取り上げて考えさせる。 ○ 発育段階として性に関心を持つことが当たり前のことであるが、身の回りにある情報の中には健全と言えない情報が含まれていることを再認識し、問題意識をもたせる。 ○ 男女の意識の違いについてもお互いに理解し合えるよう板書を工夫する。	雑誌・広告・漫画の描写等、生徒の実態に応じて準備する。
	3. 性情報の影響についてグループで話し合う。 〈予想される反応〉 ・ 性情報は役立つものもあるけど、誤ったものもあるから、批判力や判断力を持って、適切に対処することが大切だと思う。 ・ 情報の内容に振り回されないことが大切。 ・ 見たい気持ちをコントロールすることが大切。 ・ 一人で悩まないで、保健室の先生などに相談することが大切だと思う。 4. グループごと発表する。	○ブレインストーミングのやり方を説明する。 ○性に関する情報に対して、自分達はどうようなつきあい方をしたらよいか、資料を基に考えさせる。 ○学校でのマナーや、家庭での対処の仕方について具体的に確認できると良い。 ○性欲がコントロール出来ない場合は犯罪（のぞき、強姦等）に繋がることもあることをおさえる。 ○グループごとに発表させる。	資料1「ブレインストーミングとは」 資料2「コミュニティサイトに起因する児童被害の事犯に係る調査結果」 資料3「出会い系サイトは絶対ダメ！」
まとめ 10分	5. 授業を振り返り、性の情報についてこれから自分がどう接していくか、自分のめあてを決定し、発表する。 【自己決定】 〈予想される反応〉 ・ 見たい気持ちをコントロールしたい。	○自分に合っためあてを学習カードに記入させる。 ○自分で情報を選択し、それに基づいて行動し、その行動に責任を持たなければならないことを押える。 ○可能な場合は、互いの考えを聞き合う。 ◆【思考・判断・実践】 性の情報についてこれから自分がどう接していくか、自分のめあてを決定することができる。（学習カード・発言）	学習カード

6. 資料等

アンケート用紙

性に関する情報アンケート

男子 or 女子

あなたは、性に関する話や情報をどこから見たり、聞いたりしていますか。
あてはまるものに○をつけ、9・10は具体的部分も記入してください。

あてはまるものに○	性に関する情報源は？
1	学校の授業
2	友人・先輩
3	テレビ・ビデオ
4	ゲームソフト
5	インターネット
6	雑誌・マンガ
7	ケータイ小説
8	専門書
9	家庭（両親・兄弟姉妹等）（具体的に…）
10	その他（具体的に…）

性に関する情報で、不快に思った内容や事例があったら記入してください。

資料1

ブレインストーミングとは

集団（小グループ）によるアイディア発想法のひとつで、自由にアイディアを出し合い、お互いの発想を利用して、連想されるものをどんどん発言していく方法です。

アメリカの広告業界（提唱者A. F. オズボーン）で創案された方法で、その狙いは、つまらないアイディアでも、他人には別のすばらしいアイディアをひらめかせるかもしれないという考え方です。従って、ブレインストーミングをおこなう際には、次の4つの原則を徹底させる必要があります。

<ブレインストーミングの4つの原則>

- 自由奔放：深く考えずに、思いついたことを発言しましょう。こんなことを言ったら笑われるのではないかという気持ちは必要ありません。思いついたことをどんどん発言しましょう。
- 批判厳守：他人の発言は批判してはいけません。他人への批判を認めてしまうと、自由奔放の原則が崩れたり、発言しないで済ませてしまうことも考えられます。
- 便乗歓迎：他人の発言に便乗して、連想されたことを発言することもよいです。他人の発言に触発され、自分の考えが発展していく可能性は大だからです。
- 質より量：良い、悪いは考えなくてたくさん発言しましょう。

留意事項

- ・ブレインストーミングの時間は5分程度とする。
- ・グループは5～10人程度とし、記録する人を決める。
- ・意見が活発に出ないことが予想される場合は、最初に用紙等にかかせてから意見を出させる等の工夫が必要。

【資料2】「コミュニティサイトに起因する児童被害の事犯に係る調査結果」（警察庁）
www.npa.go.jp/cyber/statics/h25/community-1.pdf （参照 2014-2-3）

【資料3】「出会い系サイトは絶対ダメ！」（警察庁）
www.npa.go.jp/cyber/deai/pamphlet/pdf/pamphlet-H24.pdf （参照 2014-2-3）

学習カード

2年第2時「性情報と私たち」



学習カード

年 組 氏名

1. 「性に関する情報のアンケート結果」の感想。

2. 性の情報によって、どんな影響があるか考えてみよう。

3. 性の情報に対して、自分達はどのような付き合い方をしたらよいのだろうか。

4. 他の意見を聞いて、性の情報についてこれから自分がどう接していくか考えよう。

1. 題材名 中学校第3学年「これからの生き方」(内容(2)－ク、(3)－オ)

2. 題材の目標

- 「性」を自分の生き方と関連づけて考え、より良い将来像に向けて自分の行動を考え、判断し、実践できるようにする。

3. 題材について

○題材設定の理由

本題材は、性的な発達への適応や、主体的な進路の選択と将来設計に関わる内容である。中学3年は、卒業という区切りを目前にし、自分の進路やこれからについて考える機会が多くなる時期である。将来を考えるこの時期に、自分の人生が「性」と密接に関わっていることを知り、「性を含んだ自分のこれから」について考え、より良い自己選択・自己決定ができることが大切であると考え、本題材を設定した。

○本題材の指導

事前に助産師や産婦人科医等の外部講師の講演を実施し、妊娠・出産・育児に関する基本的な知識を得ておく。本時では、導入で「性の3つの側面」について触れ、生きていく上で「性」が密接に関わっていることに気づかせる。また、自分で「ライフプラン」を設定することで、より良い将来像を実現するため、現在においてどのような力や行動が必要かを具体的に考える。事後には身近な先輩の話を聞き、進路選択や生き方の目標などが具体的になるようにする。

4. 指導計画

	日 時	活 動 内 容
事 前	○月○日 第○校時	○助産師さんの話を聞き、出産や育児の大変さを知る。
本 時	○月○日 第○校時	○自分のライフプランを考え、性に関するこれからの行動について、自分で考えコントロールしていくように自己決定する。
事 後	○月○日 第○校時	○先輩の話を聞き、進路選択やこれからの生き方について自分なりの目標を持つ。

5. 展開例

目指す生徒の姿

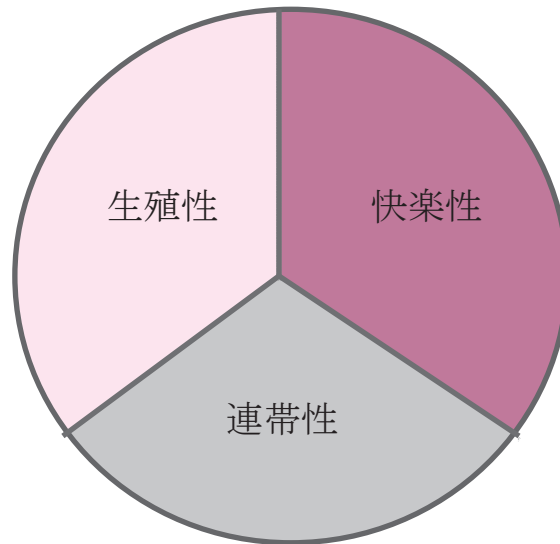
集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
自己の生活の充実と向上に関わる問題に関心をもち、自主的、自律的に日常の生活を送ろうとしている。	日常の生活における自己の課題を見出し、自己を生かしながら、よりよい解決方法などについて考え、判断し、実践している。	集団や社会への適応及び健康で安全な生活を送ることの大切さや実践の仕方、自他の成長などについて理解している。

	主な学習活動	○指導上の留意点 ◆評価	資 料 等
導入 10分	1. 性について考える。(ブレインストーミング) 〈予想される反応〉 ・妊娠、出産、育児 ・性的接触 ・男女交際 ・男女など性別 〈予想される反応〉 ・「性」は生まれた時から常に自分に関わりのあることだと思った。 ・生殖の性は人生でもごく一部だと思った。	○「性とは何だと思うか」というテーマでグループごとにブレインストーミングをさせる。 ○意見を言いやすいグループとなるよう配慮する。 ○フラッシュカードに記入し、黒板へ分類しながら貼る。 ○分類を、性の3つの側面である「生殖の性」、「快楽の性」、「連帯の性（触れ合いの性）」になるようにする。 ○資料を配布し、考えたことを自由に発表させる。	模造紙 付箋 マジック 資料1「性の3つの側面」
	めあて：これからの生き方「ライフプラン」を「性」と関連づけて考えよう。		
展開 30分	2. これからの生き方「ライフプラン」を考える。 〈予想される反応〉 ・高校に行って交際したい。 ・保育士になる。 ・結婚は25歳くらい。 ・子どもは2人。 ・結婚したい人、したくない人がいる。 ・人によって考え方が違う。 3. 妊娠や出産の時期により、自分の人生がどう変化するかを考える。 〈予想される反応〉 ・結婚、妊娠、出産のタイミングによって、人生が変化していくと思った。	○記入例を提示し、具体的にイメージできない場合は、大雑把な将来像で良いと伝え、書きやすくなるよう支援する。 ○なかなか記入できない生徒には「男女交際はしたい?」「結婚の前の交際期間はどのくらい?」など、「性」に関わるような問いかけをする。 ○ライフプランシートの高校のあたりに別の色で「妊娠・出産」と記入し、以降の人生プランを別の色で記入させる。 ○書き終わったら、グループごとにお互いのシートを見合い、自由に意見交換させる。 ○シートを記入した感想や気がついたことを発表させる。	学習カード「ライフプランシート」 シートの記入例
まとめ 10分	4. 本時を振り返り、自分が描いたライフプランのためにどうしていきたいかを記入し、発表する。【自己決定】 〈予想される反応〉 ・高校に進学できるように、今は勉強に集中する。	○学習カードに自分が描いたライフプランのためにどうしていきたいかをできるだけ具体的に記入させる。 ◆【思考・判断・実践】 これからの生き方を考え、より良い将来像に向けて、自分の行動のしかたを決めることができる。(学習カード・発言)	

6. 資料等

資料1

性の3つの側面



人間の性とはなにか・・・それは男であること、女であること、そこから生じるすべての事柄であり、人と人とを結ぶ絆である
(松本清一)

生殖の性：男性と女性の営む性行動によって新しい命が生み出され、種族保存の目的が達成される

快楽の性：心身のリラックス、マスターベーション

連帯の性：親密性、精神性。愛情の表現、心と心の結びつき、人格と人格のふれあいを伴う。

3つの特質それぞれが尊重され、その人なりの生命の質（QOL）のなかで調和しあい実現していくことが望まれる。

これからのライフプランを考えよう！

まだまだ続く人生・・・

またまた続く人生

⑤結婚は・・・
する ・ しない

何歳頃？ 歳

こどもは？
何人くらい？

？

④就職は・・・
する・しない

何がしたい？

③さらに進学・・・
する・しない

何がしたい？

②高校は・・・
いく・いかない

何がしたい？

卒業

①私（ ）
今、 歳

自分の描いたライフプランを実現するために、これからどうしていきたいですか？

1. 題材名 高等学校第1学年「性被害者・加害者にならない」（内容（2）ーク）

2. 題材の目標

- SNS、出会い系サイト、無料電話・メールのアプリ等を利用する上で性被害者・加害者にならないようにするにはどうしたらよいかよりよい方法を考え、判断し、実践できるようにする。

3. 題材について

○題材設定の理由

本題材は、心身の健康と健全な生活態度や規律ある習慣の確立に関わる内容である。高校生になると大多数が携帯電話を所有している。携帯電話は通話やメールだけでなく、カメラや電子マネー、ワンセグなど多機能となり、インターネットへアクセスすることにより世界中と容易につながることが可能となっている。高校生の性に対する意識はこのような情報化社会の影響を大きく受けており、性の被害者にも加害者にもなりやすくなっている。生徒が犯罪から身を守るために、SNS、出会い系サイト、無料電話・メールのアプリ等の利用で危険に巻き込まれる実態を知り、性被害者にも加害者にもならないよう適切な行動選択ができるようにすることが大切と考え、本主題を設定した。

○本題材の指導

事前にアンケートを実施し、実態を把握する。また、保健体育科保健分野「現代社会と健康」の内容である「性感染症とその予防」と関連づけて指導をする。さらに道徳性や規範意識とも関連づけて指導をする。本時では、新聞記事の実際に起こった事象から SNS、出会い系サイト、無料電話・メールのアプリ等の利用で危険に巻き込まれる実態を知り、原因を考え、性被害者にならないようにするにはどうしたらよいか考えを深めるとともに、性加害者にもならないよう意識づけをする。事後評価のため、SNS、出会い系サイト、無料電話・メールのアプリ等の利用で気をつけたことを1週間、記録させる。

4. 指導計画

	日 時	活 動 内 容
事 前	○月○日 SHR	○アンケートによる実態調査
本 時	○月○日 LHR	○性被害者・加害者にならないよう適切な行動選択ができるよう、注意したり、実践したりすることを自己決定する。
事 後	○月○日 SHR	○自己決定したことを1週間記録し、振り返りを行い自己評価する。

5. 展開例

目指す生徒の姿

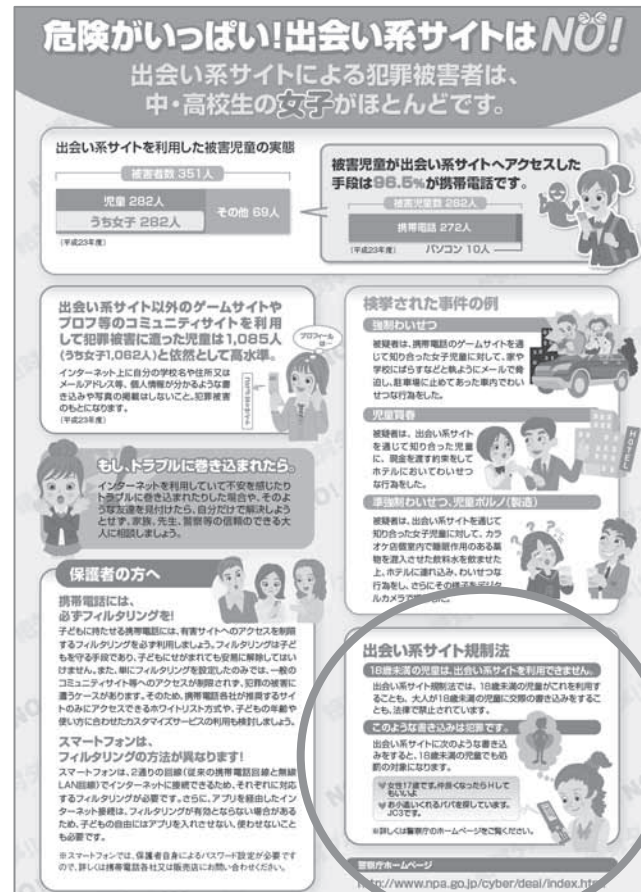
集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
自己の生活の充実と向上に関わる問題に関心をもち、自主的、自律的に日常生活を送ろうとしている。	日常生活における自己の課題を見出し、自己を生かしながら、よりよい解決方法などについて考え、判断し、実践している。	集団や社会への適応及び健康で安全な生活を送ることの大切さや実践の仕方、自他の成長などについて理解している。

	主な学習活動	○指導上の留意点 ◆評価	資 料 等
導入 10分	1. 携帯電話の良い点、悪い点についてグループで話し合う。 〈予想される反応〉 ・いつでも、どこでも、誰とでも連絡が取れる。 ・犯罪に巻き込まれる。 ・コミュニケーション力が身につかない。	○まずワークシートに自分の考えを書いた後で話し合うように指示する。 ○自由に話し合える雰囲気を作る。 ○グループの話し合いで出た意見を発表させる。 ○携帯電話は便利であるが、問題が多いことも気づかせる。	学習カード
	めあて：携帯電話の利用による性被害者・加害者にならないための方法を考えよう。		
展開 30分	2. 被害の実態を知る。 〈予想される反応〉 ・SNSや出会い系サイト、無料電話・メールのアプリの利用から危険に巻き込まれることがあるんだな。 3. 危険に巻き込まれる原因や対策を考える。 〈予想される反応〉(原因) ・直接会わないから危険意識が薄い。 ・さみしさや不安を紛らわすことができる。 (対策) ・サイトを見ない。 ・インターネット上で知り合った人と会わない。 4. 性加害者にならないためにはどうしたらよいか話し合う。 〈予想される反応〉 ・規範意識を持つ。 ・匿名性のため問題意識が薄くなることに注意する。	○新聞記事から犯罪に巻き込まれた事例について考えさせる。 ○身近な問題であることを知らせる。 ○資料1を基に危険に巻き込まれる原因や対策について考えさせる。 ○ブレインストーミングを用いて、グループでの話し合いが活発になるようにする。 ○自分自身の心のすきだけでなく、相手が悪意を持っていることがあることにも目を向かせる。(なりすましなど) ○資料2を参照し、被害にあわないための3つのNOを知らせる。 ○資料3を参考に加害者にならない留意点について考えさせる。 ○軽い気持ちで行ったことでも、法律に違反すれば、犯罪行為になることを知らせる。 ○インターネット上の「足あと」をたどれば、容疑者は特定されることを知らせる。	新聞記事 資料1 平成24年下半年期「コミュニティサイトに起因する児童被害の事犯に係る調査結果」 資料2 警察庁サイバー犯罪対策 資料3 「出会い系サイト」を規制する法律
まとめ 10分	5. 話し合ったことを振り返り、性被害者・加害者にならないために注意することを決め、発表する。【自己決定】 〈予想される反応〉 ・インターネット上で知り合った人と会わない。	○自分が注意できることを具体的に記入するように説明する。 ○一週間実践したことを記録し、後日見返すこと（事後評価）を予告する。 ◆【思考・判断・実践】 性被害者・加害者にならないために自分が注意したり実践したりすることを決めることができる。(学習カード・発言)	

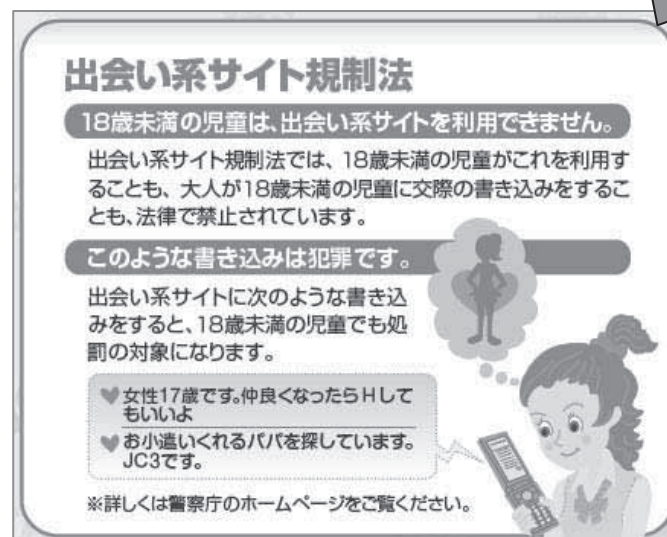
6. 資料等

【資料1】「コミュニティサイトに起因する児童被害の事犯に係る調査結果」（警察庁）
www.npa.go.jp/cyber/statics/h25/community-1.pdf （参照 2014-2-3）

【資料2】「出会い系サイトは絶対ダメ！」（警察庁）
www.npa.go.jp/cyber/deai/pamphlet/pdf/pamphlet-H24.pdf （参照 2014-2-3）



資料3 【資料】「出会い系サイト」を規制する法律



ワークシート 性被害者・加害者にならない！

年 組 氏名

携帯電話の良い点

携帯電話の悪い点

危険に巻き込まれる原因は？

性被害にあわないためにどうすればいい？



性加害者にもならない！！ ためにはどうしたらいい？

自分が注意したいこと： _____

< 1 週間、自分が携帯電話利用で注意したこと、実践したことを記録しよう >

月	日
月	日
月	日
月	日
月	日
月	日
月	日

1. 題材名 高等学校第3学年「デートDVについて」（内容（2）－エ・ク）

2. 題材の目標

○デートDVをしないようにするための、よりよい方法を考え、判断し、実践できるようにする。

3. 題材について

○題材設定の理由

本題材は、男女相互の理解と協力、心身の健康と健全な生活態度や規律ある習慣の確立に関わる内容である。高校生となり異性との親密な交際が見受けられるようになる。そのような異性との交際の中で、生徒たちが普通だと思っていることが、実はデートDVにつながる危険があることに気付かないことが多い。デートDVを受けた生徒は心身に大きなダメージを受け、学校生活が困難な状況に陥ったり、将来にわたって大きな影響を受けたりすることが懸念される。

そこでデートDVをする人にも、される人にもならないため、「暴力の容認」や「力と支配」の問題や、「男らしさ・女らしさ」の偏りに気づき、交際相手とお互いに対等な関係を築いていけるようになることは、今後生きていく上で大切なことと考え本主題を設定した。

○本題材の指導

事前に「デートDV意識チェックシート」に記入させることで、自分自身の問題として取り組めるようにする。また、事前に学習している保健体育科保健分野「生涯を通じる健康」の内容である「思春期と健康」の中にある「異性の尊重」についても関連づけて指導することとする。本時では、デートDVとは何かを理解し、「男性らしさ」「女性らしさ」の中にある偏見に気がつき、男女がお互いを尊重し、豊かな人間関係を構築していこうとする意欲を高め、デートDVをしないために気をつけることを自己決定し、まとめる。その後、個々のケースに個別指導を入れていく。

4. 指導計画

	日 時	活 動 内 容
事 前	○月○日 SHR	○デートDV意識チェックシートに記入させる（資料2）
本 時	○月○日 LHR	○デートDVをなくすために男女がお互いを尊重し、豊かな人間関係を構築していくための方法を自己決定する。
事 後	○月○日 SHR	○必要な生徒への個別指導

5. 展開例

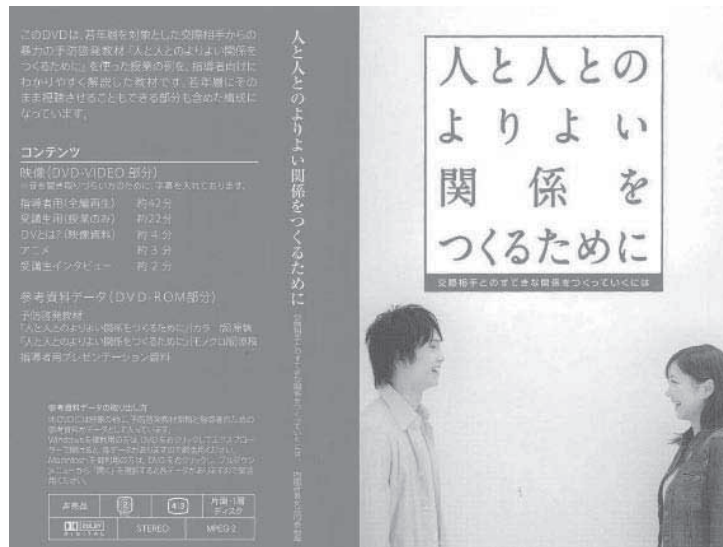
目指す生徒の姿

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
自己の生活の充実と向上に関わる問題に関心をもち、自主的、自律的に日常の生活を送ろうとしている。	日常の生活における自己の課題を見出し、自己を生かしながら、よりよい解決方法などについて考え、判断し、実践している。	集団や社会への適応及び健康で安全な生活を送ることの大切さや実践の仕方、自他の成長などについて理解している。

	主な学習活動	○指導上の留意点 ◆評価	資 料 等
導入 10分	1. デートDVについて知る。 〈予想される反応〉 ・ 普通だと思っていることが、デートDVにつながる危険があるんだな。	○DVDを見て感じたことを自由に発表させる。	資料1 「人と人とのよりよい関係をつくるために」(DVD)
	めあて：デートDVをしない、男女がお互いを尊重しあえる人間関係を作っていくために大切なことを考えよう。		
展開 30分	2. デートDVを理解する。 〈予想される反応〉 ・ 全部間違いなんだ。 ・ 正しいと思った。 3. デートDVとはどんな暴力のことか考えよう。 〈予想される反応〉 ・ 言葉での暴力 ・ 身体的暴力 4. 事例における2人の会話の問題点を考える。 〈予想される反応〉 ・ 相手を怖がらせている。 ・ 自分の考えを押しつけている。 ・ 相手をバカにしている。 5. お互いに尊重する会話に作り変えて発表する。 6. 「女らしさ」「男らしさ」とはどんなことか話し合う。(ブレインストーミング) 〈予想される反応〉 (男らしさ) ・ 強い、泣かない、活動的、リーダーシップ 等 (女らしさ) ・ か弱い、泣く、やさしい、おとなしい、従う 等	○事前に記入してあった「デートDV意識チェックシート」の答えの答え合わせをする。 ○すべての項目が間違った考えであることを知らせる。 ○資料3を基に、具体的な暴力の内容について考えさせる。 ○これらの暴力は1つだけでなく重なりあって発生することを伝える。 ○学習カードの事例(2人の会話)の問題点を考えさせる。 ○デートDVは暴力を使って相手を思いどおりに動かせるよう、「力と支配」であることを認識させる。 ○学習カードのA男の会話部分に記入し発表させる。 ○「女らしさ」「男らしさ」とはどんなことか考え発表させる。 ○「男らしさ」はリーダー性や力を表わすイメージ、「女らしさ」はバックアップや従うイメージの表現が多いことに気づかせる。 ○個々が持っている女らしさ、男らしさの偏見に気づかせ、その偏見が男女間で力の差となり、DVにつながることを認識させる。	資料2 「あなたのデートDV意識チェック」 資料3 「暴力のタイプ」 学習カード
まとめ 10分	7. デートDVをしないようにするためにこれから気をつけていきたいことを考え発表する。【自己決定】 〈予想される反応〉 ・ メールの返信を強要しないようにしたい。	○デートDVをしないようにするために自分がこれから気をつけていくことを具体的に決め、発表させる。 ◆【思考・判断・実践】 暴力をなくすために、自分自身が気をつけることを決めることができる。(学習カード・発言)	

6. 資料等

資料 1



【参考】内閣府男女共同参画局
「人と人とのよりよい関係をつくるために」

DVDは長野県教育委員会事務局
保健厚生課から貸出可。

(連絡先 026-235-7444)

資料2

意識調査テスト あなたのデートDV理解度チェック

次のことがらで正しいと思うものには□の中にレ点をつけてください。

- ☐ 1. DVなんておとなにしかおこらない
- ☐ 2. デートDVなんて高校生におきていない
- ☐ 3. デートで暴力をふるわれる女の子なんてすくない
- ☐ 4. おきたとしてもきつと1回だけだ
- ☐ 5. 望んでいないのにセックスする女の子なんていない
- ☐ 6. いちどセックスしたら「彼女はおれのものだ」と思っている
- ☐ 7. デートでレイプされる子なんて自分が悪い
- ☐ 8. お互いにきらいになって別れそうになったときおきる
- ☐ 9. 暴力をふるうのは相手を好きじゃないからだ
- ☐ 10. 暴力をふるわれる理由が女の子のほうにある
- ☐ 11. うんと親しくなれば、女の子がいやがっても男の子がセックスしたがるのはしかない
- ☐ 12. 女の子のNOは、ほんとうはYESだ
- ☐ 13. 女の子がどうしてもセックスはいやなら避けられるはずだ
- ☐ 14. セックスのとき男の子が避妊しなきゃならぬ、女の子は無理強いできない
- ☐ 15. 女の子のほうから避妊してなんて言ったら嫌われる
- ☐ 16. 避妊なんて格好悪い

暴力のタイプ

DVとは、親密な関係にあるパートナーに対して繰り返される暴力的で高圧的な態度のことで、暴力には以下のようにさまざまなタイプがあります。

言葉での暴力

相手に向かってばかにした言葉や汚い言葉を言う。相手に対して欠点をあげつらったり、否定的なことを言ったりする。どなる。さけぶ。わめく。皮肉やいやみを言う。

身体的暴力

物を投げたり破壊したりする。相手に向かって物を投げる。唾を吐きかける。噛みつく。つかんでゆする。部屋や家から出ないようにさえぎる。監禁する。押したり突いたりする。押さえつける。髪の毛をつかんで引っ張る。平手で顔をたたく。げんこつでなぐる。物を使ってたたく。首を絞める。危険物や凶器を使う。タバコや熱いもので火傷をさせるなど。

心理的暴力

不機嫌になったりむっつりしたりする。相手に自分はだめな人間だと思わせる。感情を見せない。自分の失敗を決して認めないで相手の言う事実を否定する。自分の態度や行動を相手のせいにする。事実をねじ曲げたり矮小化したり否定することで相手を混乱させる。次にどんな行動をするかわからなくさせてびくびくさせる。夜遅くまで寝かせない。わざと浮気をして嫉妬させる。浮気をしているだろうと相手を責める。ストーキングする。友だちや家族の前で恥をかかせる。友だちや家族に連絡させない。だんだん孤立させていく。プライバシーをもたせない。やさしくするのと暴力をふるうのを交互にして混乱させる。「自殺する」とおびやかす。など。

性的な暴力

相手が寝ているときにセックスを始める。相手がしたがらないのにセックスを無理強いする。セックスのとき痛めつけたり侮辱したりする。力や暴力でレイプする。セックスに応じないと冷たくする。いやがってもボルノなどを見せる。避妊に協力しない。

経済的締めつけ・封鎖

お金の管理を独占する。お金の使い道を細かくいちいち報告させる。十分な家計費を与えない。お金が必要なときは自分の許可をとらせる。働かない、あるいは相手だけに働かせる。お金の使い道をすべて自分だけで決める。仕事を辞めさせようとする。無責任にお金を使う。かけごとをする。相手が離れようとしたときお金を持ちだせないようにする。など。

【参考】資料2・3

山口のり子（2003）『デートDV防止プログラム実施者向けワークブック』、梨の木舎

学習カード

ある2人の会話

A男「日曜日デートしよう。いいだろ」

B子「ごめん。もうC子と遊ぶ約束しているんだ」

A男「えー。なんだよ。彼氏の方を優先するのが普通だろ」

B子「んー。でも、C子と約束したほうが先だし……」

A男「おまえ！！俺とC子とどっちが大事なんだよ。そんなの断われよ。

C子と遊んだって楽しくないに決まっている。どうせカラオケか買い物だろ。そんなの楽しくないじゃないか！俺とのデートの方が楽しいだろ？！」

B子「……わかった。」（泣きそうな表情）

問題点

何が問題？

相手にいやな思いをさせないように
でも、自分の思いも相手に伝える
には、どう言えばいいんだろう？

どう言えばよかった？

A男「日曜日デートしよう。いいだろ」

B子「ごめん。もうC子と遊ぶ約束しているんだ」

A男「

」

B子「んー。でも、C子と約束したほうが先だし……」

A男「

」

B子「じゃあ、この次はA男とのデートを優先させるね」（笑顔）

